

## 世界の異常天候とその影響評価 (23)

(Climate Impact Assessment, January, 1986)

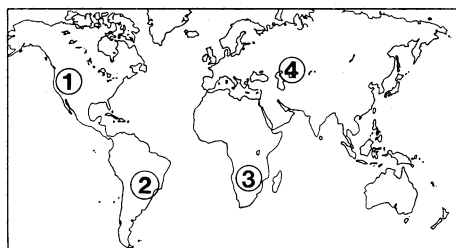
## 1. 合衆国カナダ—高温

合衆国の中部・西部及びカナダの西部では、気温が平年より3~8°C高くなり、北米での暖房用の燃料消費がかなり少なくなった。合衆国の暖房費の総額は平年より8億ドル(8%)も少なかったと見積もられている。

## 2. ブラジル—干ばつ緩和

干ばつが発生しているブラジル南部では、かなりの雨が降って救いの雨となった。干ばつが特に深刻なリオグランデス州では70~90mm(平年の75%)の雨が降り、その北方のサンタカタリーナ州とパラナ州でも180~200mm(平年の約90%)の雨が降った。このような望ましい天候にもかかわらず、以前に発表された農作物の被害は回復不可能となりそうである。ブラジルからの情報によれば、リオグランデス州の農業被害だけで13億ドルに達している。この数字のうちには、トウモロコシ・豆類の70~80%の損失が含まれている。一方、コーヒーの被害は15億ドルと見積もられている。

パラグアイ東部とアルゼンチンの北東部では、干ばつの状況にブラジル南部ほどの好転の気配は見られない。この地域では1月の降水量は平均して45mm(平年の30~35%)以下であった。



## 3. アフリカ南部—干ばつ

干ばつの続いているボツワナでは5年続きの不作となりそうである。11月1日以来の降水量は平均の75%以下であった。南アフリカ共和国の北部でも干天の影響が出ている。

## 4. ユーラシア大陸—高温

ユーラシア大陸では広い範囲で温暖な1月となったため、暖房用のエネルギー需要が減少した。ルーマニア〜ソ連南部〜中国北部では気温は平年より3~5°C高かった。

注：上記各項目の番号は図中の番号に対応している。

(気象変動対策室 真野裕三)